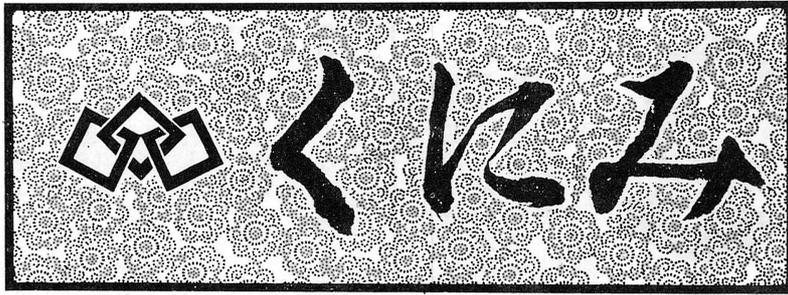


人口と世帯数  
 男 5,873人  
 女 6,144人  
 計 12,017人  
 世帯数 2,690世帯  
 47.11.1 現在.



編集発行 国見町公民館



(敬称略)

# 町政功労者を表彰

## —昭和四十七年度町表彰式—

### 式 辞

本日文化の日をとし、昭和四十七年度町政功労者の表彰式を挙行いたしましたところ、公私共々多端の折にもかかわらず、地方行政にもかかわらず、地方行政連絡室長殿をはじめ来賓各位、関係者皆様のご列席を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

当町におきましては去る昭和四十二年、町表彰規程を制定し政治、経済、産業等町政各般にわたって町の振興に寄与され、その功績顕著な方々を顕彰し民風の高揚を促進して参っており本年度は第六回目にあたり

本日表彰申し上げます五名の皆様方は町職員として多年にわたり在職され、町政にご奉仕を頂いた方々ならびに多年部落会長、納税組合長として町の末端行政事務にご尽力を頂いた方々でございます。皆様方はそれぞれその要職にあつて、長年にわたり地域社会の発展と福祉向上に多大のご貢献をいただいたのでございまして、その功績に対し衷心

### 受彰者次のとおり

職名	勤続年数	氏名
部落会長	十年	佐藤源藏
納税組合長	十年	後藤正明
保母	二十年	玉木イヨ
給食婦	二十年	菊地マサ子
寮母	二十年	宮内ミエ

### 昭和47年度

# 秋季全国火災予防運動

「慣れた火に新たな注意」

## 国 見 町

### 人権相談所

開設のお知らせ

- 一、期日 十一月二十九日 午前十一時～午後三時
- 二、場所 国見町 町民福祉センター

一、相談内容

- 交通事故・借地借家
- 離婚・扶養・相続
- その他人権相談

一、担当者 法務局職員

人権擁護委員 弁護士  
 ○相談は無料で秘密を守ります。

なお、当町の人権擁護委員は次の方です。

- 大字小坂 佐藤善次郎
- 大字山崎 早田 盛

### 芸能発表会

みなさんおそろいでおいでくださるようお願いしております。

- 一、期日 十一月二十六日 午前九時半～四時半
- 二、場所 国見町町民福祉センター
- 一、内容  
民謡・吟詠・舞踊  
コーラス・箏・バンド  
俳句等の発表

# 「財政を効果的に運営」 健全財政を確保

## 503,613,000円 (前年比52.4%増)

### (昭和46年度国見町一般会計決算)

九月定例町議会  
で承認された昭和  
四十六年度決算の  
概要は次のとおり  
でしたのでお知らせ  
いたします。

歳入、歳出決算額  
は、  
歳入五〇三、六一  
三、千円  
歳出四九五、二三  
七、千円

となり健全財政を  
維持しつつ重点事  
業の計画を基に、住みよい  
町づくりを推進するため町  
道の舗装拡充改良、藤田保  
育所の改築、中学校のプー  
ル建設を実施いたしました  
次に各部門における主要  
施策の成果を挙げてみます  
(単位、千円、百万円以上  
の事業)

- 1 総務部門 一、二五〇
- 2 民生部門 一、四九八
- 3 衛生部門 二〇、三三二
- 4 農林部門 七、七六〇
- 5 商工部門 八、〇七〇
- 6 土木部門 一、〇〇〇
- 7 消防部門 一、三〇〇
- 8 教育部門 三、九四一
- 9 農業近代化施設補助 三、〇〇〇
- 10 厚樫林道 八、〇七〇
- 11 中山企業育成 四、〇〇〇
- 12 土庫部門 一、〇〇〇
- 13 山崎宮前町道改良 一、〇〇〇
- 14 藤田堰下東北線簡易舗装 二、八二〇
- 15 貝田地内 二、二八三
- 16 滝川地内舗装 九、〇六〇
- 17 山崎通学道改良 九、〇六〇
- 18 北古館地内新設 九、〇六〇
- 19 硯石線 一、〇〇〇
- 20 県営事業負担金 六、三九三
- 21 貝田住宅建設 八、九六五
- 22 消防ポンプ 一、三〇〇
- 23 三町常備消防協議会 二、七三〇
- 24 伊達消防組合負担金 九、九九八
- 25 学校給食センター協議会 三、九四一
- 26 県北中プール 一〇、九二二

## おめでと〜ございませう

(十月中出生届をされた方 敬称略す)

出生日	氏名	親名と続柄	住所
9/26	鴨田 秀幸	貞次の長男	内谷 西46
9/27	鈴木 哲也	光雄の長男	山崎 堰下12の1
9/29	斎藤 哲也	正昭の2男	藤田太子堂41の6
10/7	高橋 哲夫	勝彦の長男	鳥取 中ノ町5
10/8	安藤 雅規	宏美の2男	小坂 梅ノ町25
10/10	菅野 崇	正光の長男	内谷 東32
10/13	阿部 浩美	初男の長女	貝田 町裏4
10/14	瀬戸 正博	孝の2男	西大枝上台39
10/16	徳江 雄一	恒雄の長男	徳江 館25
10/18	佐久間 幸司	貞勝の長男	泉田 堰下31
10/19	大野 奈美	重好の3女	小坂笹ノ口2の1



## 第六回青年の船

団員 石母田 佐藤秀也

第六回青年の船団員として当町石母田、佐藤米雄さんの長男秀世君が全国多数の応募者の中から選ばれ、十月十六日東京港を出港約二ヶ月東南アジア視察研修に出発し、

その日から、二十一日九時

まで五日間、太平洋

に上りひとすじの船跡を残して走り続けた。ゆっくりと

このローリングしながら藍の水を割って進む白い巨大な船体、おごそかに重厚に、そして不思議な程静かに。風も夜も着実に進み続けるたのもしい船に、僕はただの機械以上のものを感じた。それは素晴らしい巨大な生

きものである。限りのない大洋、果てない水平線を望みつつ僕らの船は「太平洋諸国民の理解と発展をもとめて」というテーマをかかげて、ひたすらフリーツピンのセブをめざす。船旅特有の恵まれた時間を、甲板で海をながめたり、学習やスポーツ、パーティ等で消化しながら、旅をじっくりと味わう。船旅は地球の大きさを教えてくれる。心にくつろぎを与えてくれる。

そして二十一日九時、にっぽん丸は初めての訪問地フリーツピンのセブに入港した。セブ市はマニラに次ぐ市であるが、人口は約三

十五万と云うことで福島市と同じ位と思われる。セブ市の僕達への待遇は、国賓級と云うことである。セブを連ねて市内見学に出発したがバトカーの先導付き、すべての交差点優先である街の人々は大変僕達に対して好意的で、どこへ行っても僕達は注目の的である。気さくに手を振ってくれる。しかし街には多くの粗末な服装の子ども達も多く、裸足の者も少なくない。この国は非常に貧富の差が大きく高級住宅地には大きな邸宅を構えた上流階級の人々が住んでいる。僕達は二十二日夜から二十三日朝まで、

ご協力まことに

ありがとうございます

徳江廃寺跡第二次発掘調査に当りまして、秋上げという年中で一番いそがしい時にも拘わらず国見町郷土史研究会並びに徳江の皆様には、十四日間という期間にわたりご協力いただきまして、まことにありがとうございます。又観音寺の阿部様ご一族をはじめ、観音講の皆様には、毎日のまかない方を受持ちおしいごちそうをたくさんつくっていただきました。特に引地芳男様には大切な大切な桑園をたくさん提供していただいたばかりか、毎日の

お茶などの接待に一家を挙げておつくしくださいました。又、近隣の方からはいろいろの道具をお借りしたり屋敷や田畑にふみ込ませていただいたことも深く肝に銘じております。こうした皆様のご好意によって、わが国見町の町史はつくられていきます。町民の手による、町民のため歴史、これを「国見方式」と世間では呼び、郷土史編さんの理想の姿としてあるそうです。ほんとうにありがとうございます。



- 国見町教育長 岩谷唯近
- 町史編さん室 鈴木美一 渡部正俊

市街化区域内の土地に 先買制度スタート

本年十二月一日から「公有地拡大推進法」による市街化区域内の土地の先買制度が実施されることになりました。この制度は、県や市町村が住みよい街づくりをおしすすめるため、公共施設の建設に必要な土地を先買することができるように土地所有者が市街化区域内の一定

規模以上（公共施設建設予定地内の三百平方メートル・全域内の二千平方メートル）の土地を譲渡（売ったり、交換したるとき）しよとするとときは、知事に届け出るときを義務づけ、土地を必要とする県や市町村その他地方公共団体等が譲渡前に土地所有者と協議し買取ることができるよう定めたものであります。

新成人者名簿

（昭和二十七年四月一日～昭和二十八年四月二日生）

- 藤田方部 男女計84名
  - 斎藤和子 菅野英理子 羽根幹雄 菅野雅恵 佐藤鏡子 大野いみ子 三浦千代子 羽根田美代子 安達元昭 松浦良治 小紫さみ子 大槻恵子 古川和弘 松浦正晴 本田祥 一条伊三郎 佐藤和枝 八巻久子 鈴木英雄 曳地義則 八島もと子 大竹竹司 佐藤イチ子 渡辺まさえ 渡辺幸子 大森忠幸 大石るり子 高橋良一 内村忠一 徳江和義 奥山清一 安田博三 伊藤郁子 武田一枝 高野君代 武田幹夫 古川孝行 武田昭二 幕田美枝子 高橋一雄 中野正夫 吉田久代治 加藤信子 内村トキ 斎藤和夫 栗原晃一 村上典子 佐藤隆 菊地克治 後藤紀代子 阿部善市 佐藤多喜男 佐藤もと 穴戸嘉司
- 菊地吉伴 菊地元子 菊地幸代 佐々木政弘 吉見恭子 佐藤重子 佐藤喜孝 本田清子 高橋由利子 八島富一 関口和希子 高橋勝美 安彦かよ子 鈴木勝也 鶴崎好美 佐藤孝男 吾妻悦郎 佐藤重夫 佐藤しげよ 伊藤美好 千葉富子 中村政一 吉田法子 吉田富美子 宮野いつ子 中村孝弘 高橋勇治 中村由起夫 後藤澄男 大和田良子
- 小坂方部 男女計39名
  - 原田政光 高原市太郎 後藤キミ子 高橋文子 後藤義男 斎藤美枝子 鴨田みや子 大場光男 我妻三男 野村より 佐久間順子 野村悦子 安藤俊一 佐藤美幸 横山孝夫 仲野松子 高鶴光雄 佐藤勢津子 関口政敏 横山郁夫 仲野道

お悔み申し上げます

（十月中に亡くなられた方 敬称略す）

死亡日	氏名	年齢	住所
10/3	高橋カン	85	山崎 中川前4
4	八巻キソ	85	徳江 館3
6	林徳男	64	鳥取 水無26
7	三木シゲ	78	山崎 西畑32の1
14	遠藤久三郎	80	内容 東脇2
18	佐久間伊助	72	森山 堀ノ内20
25	瀬戸彦次	77	西大枝上台22

- 仲野タイ子 吉田イワ子 黒田武 武田隆 安積芳子 高原律子 遠藤喜男 渡辺与志信 高野敏子 後藤直正 高野峰子 鴨田英子 鴨田育子 菅野美江子 熊坂幹夫 古内正好 永井義次 古内賢蔵
- ◎森江野方部 男女計45名
  - 佐久間洋子 佐久間義典 佐戸弘正 樋口江美子 佐藤敦子 佐藤美江子 佐久間定俊 佐久間敏雄 吾妻悦子 佐藤宗市 吉田まさ子 石川政博 佐藤いみ子 佐藤よね 斎藤勝 斎藤勲 斎藤良一 本多典子 徳江昭一 徳江紀江子 八巻重光 佐野幹郎 佐野正弘 村上久太郎 村上フミ 大波洋三 大波武男 蓬田清子 徳江和忠 村上京子 実沢美千子 大波英子 村上澄夫 菊地良一 高橋春子 菊地愛子 菊地敏裕 菊地陽子 菊地みさ子 藤清一 佐久間庄子 佐久枝子
- ◎大木戸方部 男女計35名
  - 斎藤弘雄 鈴木利昭 松浦美孝 高橋長俊 高橋孝市 斎藤寿秀 高橋正之 斎藤幸則 佐藤利弘 吉田忠吉 佐藤可世子 阿部秀夫 大沼敦子 佐藤久子 渋谷ひさ子 佐藤弘子 松浦正明 星野光男 星野八重子 遠藤信雄 三浦了 安田市雄 後藤貞子 後藤孝一 志村三枝子 長谷川幸子 谷津律子 阿部キヨミ 松浦英夫 関根忠夫 高橋美津子 小野恵美子 吉田敏彦 吉田弘二
- ◎大枝方部 男女計18名
  - 斎藤弘 小林光子 小林力 桜沢信子 桜沢洋子 佐藤幸江 玉手好子 瀬戸邦栄 小林健一 瀬戸清子 斎藤和子 佐藤長次郎 鈴木一之 佐久間貞市 佐藤浩康 鈴木貞治 鈴木茂 佐藤千枝子

# 文化祭 (展示会)

## 見てある記

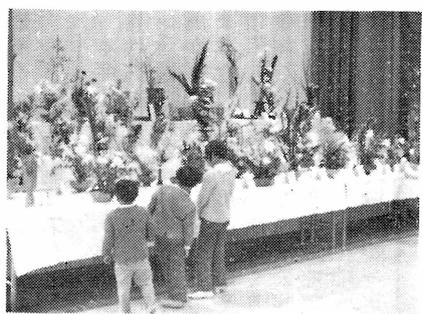
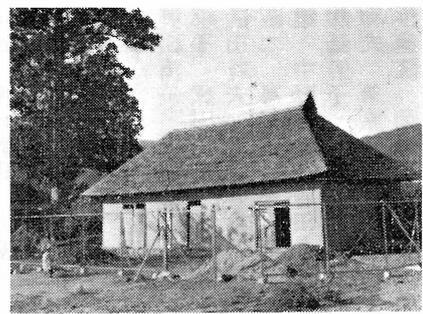
三日から五日まで町の文化祭があるというので出かけてみた。会場に着いてまず目についたもの二つ。一つは「町民体育館新築」の大看板と資材の山、来年三月末には総面積一、三七四平方メートルの体育館ができるという。工事は六千万円、大成建設KKの請負。それにもう一つは、センター西隣に移築された「県重要文化財旧佐藤勝一氏住宅」、りっぱなかやぶき屋根に壁は「荒壁」、大きな軒場石をめぐらし、目下フェンス工事中、今月中に完成とのこと。

支関に入ると正面の展示ケースに、三、四千年前から一千年前にかけての石器土器、瓦などの考古出土品が並べてある。老人子ども室には民俗資料、われらの先祖が生活や



生産に使った道具類、中にはすぐ戦前まで使った養蚕用わらだ、保温用いちご、稲こき用千歯(せんば)などなつかしいものがある。料理実習室は盆栽展示室に変わっていた。園芸愛好会も生まれで四年目、大物、小物の愛蔵品が進歩の跡を物語っている。

図書室には菊とおも、豪華華麗、やはり秋の王様は菊だという感じがする。二階の第一会議室は俳句会、老人クラブ、婦人会が仲よく同居、それに役職員クラブの手芸がわりこんでいる。あつかし俳句会では、近作の句をたんざくや軸物にしたためて貼示、すきやもみぢをあしらって室のムードを出している。老人クラブではわら細工、木竹工、手芸品など、今どきの若い人では到底まねのできない作品が所せましく並んでいる。婦人会では手芸クラブの日頃の作品を並べ、苦心のあとがしのばれる。役場女子職員の民芸品はまことに格調の高いものと感激する。



講堂には写真、書道、絵画、華道などの苦心の作品

が飾られ、特に小中学校では校務多忙の折にも拘らず見学者の一員として心からりっぱな児童、生徒の作品を提供されこの催うしに花を添えていただいたこと、感謝申し上げます。(S生記)

### 明治学級だより

今日は (三十日)

### いも煮会とヨーロッパの話

十月は歩け歩け大会やスポーツレクリエーション大会、それに文化祭の準備や古民家工事、発掘調査の協

### あつかし俳句会 (十月二十一日)

兼題 「落し水」 「萩」

乱れ萩だら／＼坂を喘ぐ齡  
雨の日は重きに堪えて萩の花  
萩咲きぬ芒もそよぐ山の荘  
旅愁の窓ホームの萩を見送りぬ  
老農の生涯ここに落し水  
尼僧の箒も軽き萩の庭  
山すそや時雨にうたれ萩の道  
沼の辺に由緒の碑古る萩の花  
こぼれ萩長き話は苦の世界  
破戒尼の過去さりげなし萩の寺  
迷ふこと羅漢に問ふて萩の坂  
こぼれ咲く萩に出合ふや秋讃歌  
萩咲くや風止む時のなかりけり  
鐘の音に夕萩花を沈めけり  
鮎っ子の干からびて居る落し水  
伏せし瓶起して洗ふ萩の庭  
秋の譜をかんでて静か落し水  
寡婦の手の豆だこ光り落し水  
襖撫でて行く白蝶のありしかな  
林道の萩咲く丘にブル着工  
幸か不幸か土着と決めし落し水

早田 灰鳥  
奥山 甲二  
齋藤 黄鶴楼  
一陽  
勝エ  
正一  
痴仏  
雨田  
山月  
葛水  
泰山  
夢水  
吐絹  
亭司  
はる子  
貞子  
えい子  
昭子  
秋子  
かね子  
栄子

力などでみんな大いそがしなので講義学習はお休みにしました。十一月になると文化祭で大活躍、高令者作品展、民俗資料展、盆栽や菊花展と展示部門のあらゆる受持ち、更に町長選挙と多忙な中で生きた社会の勉強を進めてまいりました。それで今回は、それらの反省と総まとめをするために次のような計画を立てました。皆さま奮ってご出席ください。

記  
一、日時 十一月三十日(木)  
二、日程 午前十時から反省話し合い、同十一時半から会食  
午後一時から三時まで「ヨーロッパの旅」のおはなし  
三、講師 桑折町立桑折釀芳小学校長 長谷川秀夫先生  
四、場所 町民福祉センター  
五、その他  
○軽いおべんとう持参  
○お汁代として一人一〇〇円を二十五日までに役員に納める。  
○役員はこれを取りまとめて、二十六日午後一時センターで打合会を開く。